

2021年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代表者名 代表取締役社長執行役員 C00 山口 琢也
(JASDAQ・コード 6635)
問合せ先 役職 取締役経営企画室長執行役員 CF0
氏名 為崎 靖夫 電話 (0288) 26-3930

TeikyoSat-4 打ち上げ成功のお知らせ

当社は帝京大学（理事長：沖永佳史、本部：東京都板橋区加賀 2-11-1）理工学部航空宇宙工学科の河村政昭准教授が主導となり研究開発を進めていた超小型人工衛星 TeikyoSat-4 の打ち上げプロジェクトに 2018 年 6 月より参画し、同衛星（愛称：おおるり）に搭載された高信頼性電源システムの設計、製造等を担当いたしました。

この度、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）のイプシロンロケット 5 号機に同衛星が搭載され、11 月 9 日に革新的衛星技術実証 2 号機の実証テーマの一つとして内之浦宇宙空間観測所（鹿児島県肝属郡）より打ち上げられ、「おおるり」が予定の軌道に乗り順調に稼働していることが確認されましたのでご報告させていただきます。

当社ではこれまで産業機器向け及び各種電化製品向け等、幅広いジャンルにおける電源基板ユニットの設計・開発に携わってまいりましたが、宇宙という特殊な環境下で動作する機器の設計開発に当たり、帝京大学、JAXA などの協力を得て高信頼性電源システムを完成させ、その過程において多くの知識・ノウハウを蓄積することができました。

今回の経験を今後の電源ユニットの設計・開発事業に活かしていくと共に、宇宙環境での動作実績をもとに、より高い信頼性を求められる航空宇宙産業向け電源ユニットの設計、製造を収益の柱に成長させていけるよう準備を進めて参ります。

■ 電源ユニットの概要

名 称： 超小型人工衛星搭載用高信頼性電源システム：DS010SE

規 格： 対応ソーラーパネル：8セル（又は7セル）8系統

搭載バッテリー：18650 型リチウムイオン二次電池、2直2系統

電源出力：12V 2系統、5V 3系統、3.3V 3系統

特 色： バッテリーを含む主要回路の二重化及び各種保護機能により高信頼性を実現

- 上記電源ユニットに関する技術的なお問合せ先は下記の通りです。

部 門： 開発・設計室/新規開発チーム

責任者： 岡本篤（おかもとあつし） / 末永将善（すえながまさよし）

連絡先： 0288-26-3930

- 業績への影響

2021年12月期の決算に与える影響は軽微であります。

以 上